

熊本学（世界遺産）コース

祝 天草の崎津集落が世界遺産登録 ～長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産～

キリスト教の布教から禁教、そしてキリスト教解禁と激動の時代をたどり、歴史に翻弄された人々の人間模様を描きます。奥深き歴史息づく崎津の魅力を再発見します。



第1回

キリスト教の伝来と肥後 ～天草五人衆とキリスト教～

天草市観光文化部文化課
中山 圭 先生

天草五人衆のキリスト教導入の目的から入信、天草氏領でのキリスト教浸透の展開等について、イエズス会に残る宣教師たちの書簡も併せて、当時の様子を学んだ講座でした。



第2回

細川家の原資料による 島原・天草一揆論 ～原城籠城の実像～

熊本大学永青文庫研究センター
稲葉 継陽 先生

細川家に残る文書から、島原・天草一揆を読み解く講座。教科書等で学んだ内容とは違う、別の側面からみた一揆、また戦争の残酷さについても学んだ講座でした。



第3回

キリスト教解禁と蘇る教会 ～教会への復帰とかくれキリシタン～

天草キリシタン館
平田 豊弘 先生

天草崩れについての詳細と、キリスト教信仰の実態、入信・棄教の理由、信徒発見について学びました。



第4回

潜伏キリシタンの発覚（天草崩れ） ～踏み絵を踏んだキリシタン～

熊本大学大学院
人文社会科学研究所
安高 啓明 先生

島原・天草一揆以降のキリシタン禁制政策、踏絵によるキリシタン詮索の変化、天草崩れの発生について、当時の資料を基に学んだ講座。これまでの「キリシタン史＝悲観史」とは一線を画すことが分かった。



第5回

長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産 ～広がる 熊本の世界遺産～

熊本県文化企画・世界遺産推進課
若杉 真紀子 先生

キリスト教禁教期に信仰を続けようとした潜伏キリシタンが、移住先を選んだ長崎の平戸・五島などの島や、一揆の主戦場となった原城跡などを美しい写真と共に紹介して頂きました。



受講生の感想

- ・潜伏キリシタン史を専門の歴史家の先生方からお聞きするのは初めてでした。いつも郷土史家方々のお話や本を読んでの学びでしたので、今まで知らなかった事を知り、今までの知識も整理でき、よかったです。
- ・知らない史実について学ぶことができ、もう一度島原や天草を訪れてみたいと思っています。
- ・とても楽しい講座でした。学生時代に学んだキリシタン史をもう一度学び直したいと思っています。崩れの意味をもう一度詳しく学びたいです。